

令和5年度

# 長崎県学力調査

## 小学校第5学年 国語

### 注意

- 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 問題は、1ページから14ページまであります。
- 答えは、すべてかい答用紙に書きましょう。
- 印刷がはつきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容(ないよう)に関する質問(しつもん)には答えられません。
- かい答時間は、四十分間です。かい答が早く終わつたら、よく見直しましょう。
- かい答用紙には、「組」、「番号」、「名前」を書く場所があります。まちがいのないように書きましょう。
- かい答用紙の「補助票」(ほじょひよう)には何も記入しないでください。

石田さんの学級では、日本に来たばかりのスマス先生（外国語の先生）に、自分たちの学校についてしようかいすることにしました。石田さんのグループは、給食についてしようかいするため、アドバイスし合いながらスピーチの練習をしています。次は、【スピーチ】と【グループの話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あととの問い合わせに答えましょう。

### 【スピーチ】

中野

わたしたちのグループは、給食についてしようかいします。理由は、先週の給食の時間に、スマス先生が、「日本の給食はおいしいですね。」と、おっしゃっていたからです。そこで、わたしたちの学校の給食のよさと、人気のこんだてについて調べました。

山下

まず、給食のよさについて二つしようかいします。

一つ目は、栄養のバランスがとれていることです。給食は、わたしたちが栄養をしつかり取ることができます。だから、わたしたちは、毎日元気にすごすことができます。

石田

二つ目は、地元の野菜が使われていることです。作った人が分かるので、安心して食べるることができます。

相川

次に、人気のこんだてについてしようかいします。学級でアンケートを取つて調べました。第一位は、カレーです。第二位は、焼きそばです。どちらも、おかわりしたくなるくらいおいしいです。その他にも、手巻きずしやハンバーガーが人気があります。

[終わり]

[中]

[はじめ]

三原 青葉小学校の給食は、栄養のバランスがとれていて、安心安全です。これからも、毎日みんなでしつかり食べていきたいです。スマス先生にとつて初めて食べるものもあると思いますが、いつしょに楽しく食べましょう。そして、先生のおすすめの給食も教えてください。



## 【グループの話し合いの様子】

石田 完成に近づいてきたね。

山下 もっとよくできるところがありそうだね。まず、スピーチの内容ないようから考えてみようか。

中野 給食のよさの二つ目に、具体的な例をあげると、もっと分かりやすくなると思うよ。

石田 そうだね。スマス先生と食べた給食のカレーには、地元の農家の人が作った野菜が入っていたよね。相川 じやがいもがそだつたよね。

中野 このことを例にあげて話したら、スマス先生も理解りかいしやすいと思う。つけ加えよう。

三原 他にくふうするとよいところはないかな。

相川 話し方についてはどうだつたかな。

三原 全体的に、話すスピードが速いように感じたよ。そこを直したいな。

山下 わたしもそう思うよ。日本に来たばかりのスマス先生にとつては、速いような気がする。

石田 そうちつたかな。さつきさつえいしたスピーチ練習の動画を見てみようか。

（動画を見る）

相川 日本語を勉強しているスマス先生にとつては、早口かもしれないね。

三原 分かりにくい言葉があるかもしれないから、間を取りながらゆっくり話すようにしよう。

中野 それから、スマス先生の様子を見ながら話すことも大事だよね。内容ないようが伝わっているかどうかたしかめながら話すようしよう。

（話し合いが続く）

— 石田さんたちは、【スピーチ】の練習をしています。内容<sup>ないよう</sup>を分かりやすく伝えるために、どのような組み立てで話してますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 給食のよさについて、「はじめ」で一つ目を、「中」で二つ目を話している。
- 2 スミス先生にお願いしたいことについて、「はじめ」と「終わり」で話している。
- 3 給食についてしゃかいすることにした理由について、「はじめ」で話している。
- 4 アンケートを取って調べた人気のこんだてについて、「終わり」で話している。

— 石田さんたちは、【スピーチ】の□について、より分かりやすくなるように、例をあげて話すことになりました。あなたが石田さんなら、どのように話しますか。□ア□に入る内容<sup>ないよう</sup>を、あとの「じょうけん」に合わせて書きましょう。

二つ目は、地元の野菜が使われていることです。作った人が分かるので、安心して食べることができます。

### 〈じょうけん〉

- 給食に地元の野菜が使われている」とが分かる例をあげて書くこと。
- 【グループの話し合いの様子】から言葉や文を取り上げて、スピーチにふさわしい言葉づかいで書くこと。
- 三十字以上、五十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

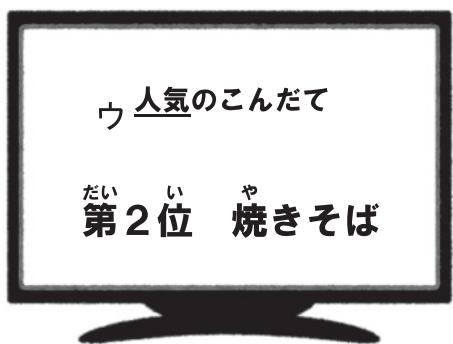
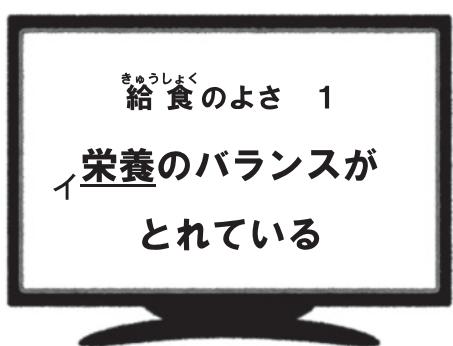
三 石田さんたちは、【グループの話し合いの様子】

一 石田さんたちは、【グループの話し合いの様子】の□において、どのようないふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- |                              |                               |                            |                              |
|------------------------------|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 4                            | 3                             | 2                          | 1                            |
| 調べて分かったことをいくつ伝えているか、たしかめるため。 | 話すじゅんじょが分かりやすくなっているか、たしかめるため。 | 決められた時間内におさまっているか、たしかめるため。 | 聞き手に合わせた話し方になつていてるか、たしかめるため。 |

四 石田さんたちは、スマス先生に分かりやすいスピーチにするために、

石田さんたちは、スマス先生に分かりやすいスピーチにするために、画面にうつす資料に使つてゐる漢字に読みがなを書くことにしました。  
—— 部イ、ウの漢字の読みがなをひらがなで書きましょ。



川田さんの学級では、ふしぎな出来事がえがかれていく物語を読み、友達としようかいし合うことにしました。川田さんは、「もうすぐ雨に」という物語を選んで読み、気になるところにふせんをはっています。次は、【物語のこれまでのあらすじ】と【物語の一部】です。これらをよく読んで、との問いに答えましょう。

### 【物語のこれまでのあらすじ】

登校前、あみ戸とまどガラスの間にはさまつてあるかえるを見つけた。ぼくは、助けようと、まどとあみ戸を動かしてみた。しかし、かえるは動かず、ぼくをじっと見つめるばかりだった。「ありがとうって言いたいのかなー」。動物の言葉が、分かればいいのになあ。」と言うと、かえるがまばたきして、どこかでチリンとすずみみたいな音がした。どこにもすずなんかない。ふと見ると、かえるもいなくなっていた。かえるもすずも、さがしているひまなんかない。ぼくは、学校に向かうために、急いでかいだんをかけ下りた。

### 【物語の一部】

(朽木 祥 「もうすぐ雨に」による)

(朽木  
祥

「もうすぐ雨に」  
による

(朽木 祥 「もうすぐ雨に」による)

— 川田さんは、文の意味をもう一度たしかめるために、―― 部アとエの文を読み返しています。次の(1)と(2)の問い合わせに答えましょう。

(1) 次のアの文について、―― 部「止まっていた」の主語としてふさわしいものを、あとの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア 電線の上には、大きなからすが止まっていた。

1 電線の

2 上には

3 大きな

4 からすが

(2)

次の(2)の文について、-----部「大きな」はどの言葉をくわしくしていますか。ふさわしいものを、あの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

工 だけど、みんなでまどかのぞいてみたら、大きな黒い雲がむくむくわいていた。

- 1 黒い  
2 雲が  
3 むくむく  
4 わいていた

二 川田さんは、ふせんをはつたところをもう一度読んでいます。次の(1)と(2)の問い合わせに答えましょう。

(1) 川田さんは、――部イに表れている「ぼく」の気持ちについて考えています。その説明としてふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 動物の声が聞こえることにおどろいて、とまどっている。

2 動物の声が聞こえるのは自分一人だと思い、がっかりしている。

3 動物の声が聞こえてにぎやかな様子が思いうかび、よろこんでいる。

4 動物の声が聞こえることがたしかめられて、こうふんしている。



(2) 川田さんは、―― 部ウについて、「ぼく」がこまつた理由を考えています。その説明としてふさわしいものを、次の1から4

までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 雨がふると、昼休みに運動場で遊べないと思ったから。
- 2 教室でみんなから注目されて、うれしくなったから。
- 3 動物から聞いたと言つても、信じてもらえないと思ったから。
- 4 もうすぐ雨がふるのに、かさを持つてきていたから。

三 川田さんは、「もうすぐ雨に」を読み、しようかいする文章を書いています。次の【川田さんの文章】の□Aの中に入る内容として

最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

### 【川田さんの文章】

わたしは、「もうすぐ雨に」という物語をしようかいします。

この物語では、チリンという音が鳴ると、動物の声が聞こえるというふしきな出来事が数回起ります。

最初は、「動物の言葉が、分かればいいのになあ。」と言つていた「ぼく」が、ふしきな出来事を通して、最後には、

A

最後まで読むと、雨がやんだ後に広がる青空を見たときのようにさわやかな気持ちになります。ぜひ読んでみてください。

- 1 動物の声が聞こえなくとも、いつ雨がふり出すかが分かるようになります。
- 2 動物の声が聞こえなくても、動物の思いをよく考えることができるようになります。
- 3 動物の目をじっと見るだけで、チリンというすずのような音が聞こえるようになります。
- 4 動物の目をじっと見るだけで、動物の声を聞くことができるようになります。

本村さんたちは、四月に行われた「ぼうさい集団下校」の様子を新聞にまとめて、学級の友達に伝えることにしました。次は、本村さんたちが書いた【ぼうさい新聞】です。これをよく読んで、あととの問い合わせに答えましょう。

## 【ぼうさい新聞】

# ぼうさい新聞

4月25日  
本村　かいと  
森　さくら  
山田　みさき

## 自分で守ろう 大切な命

(本村)

校長先生は、「自分たちの地いき全体のきけんな場所を知つておくことが大切です。」と、おっしゃっていました。

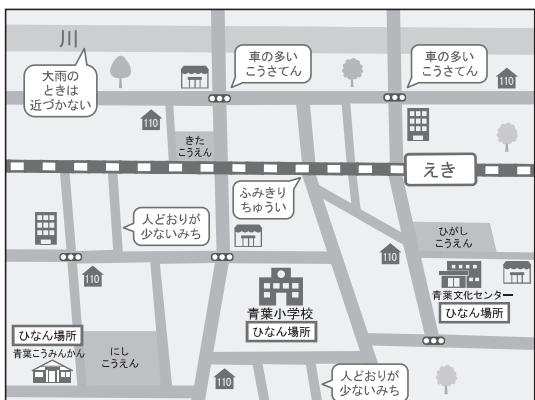
これからも、自分の命を守るためにできることを考えていきたいと思います。

四月十四日に、大雨にそなえた「ぼうさい集団下校」が行われました。地いきごとに分かれて、通学路のきけんな場所などをかくにんしながら下校しました。

六年生の松山さんは、「青葉小学校の近くの川は、雨がたくさんふると、水の量がふえます。このようなときは、とてもきけんなので、川には近づかないようにしたいです。」と、話していました。

**ぼうさいマップ**

「青葉小ぼうさいマップ」を知っていますか。これは、きけんな場所やひなん場所などを地図にまとめたものです。自然災害がはついしたときにそなえて、かくにんをしておきましょう。(本村・森)



青葉小ぼうさいマップ

これからも、大切な命は自分で守つ

たりします。(山田)  
ウ  
です。  
これからも、大切な命は自分で守つ

## 用意をしておこう

家でさい害にそなえて用意している物について、学級のみんなにアンケートを取りました。

(1人2つまで答えてもらいました。)

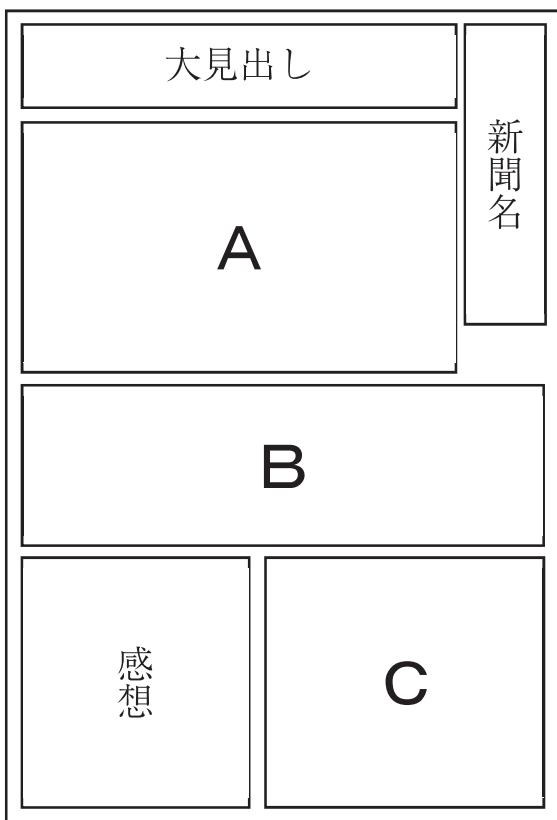
かい中電灯	30人
いんりょう水	15人
ひじょう食	12人
ラジオ	10人



このような物を用意しておくと、すぐにひなんできますね。(森・山田)

— 本村さんたちは、次のような【わりつけ】にして、【ぼうさい新聞】を作りました。A・B・Cにはそれぞれどのような内容が書かれていますか。その組み合わせとして最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

### 【わりつけ】



- |   |   |          |
|---|---|----------|
| 1 | A | 出来事の様子   |
| 2 | A | アンケート結果  |
| 3 | A | 出来事の様子   |
| 4 | A | 資料のしょうかい |
| B | B | 資料のしょうかい |
| B | B | 出来事の様子   |
| C | C | アンケート結果  |
| C | C | 資料のしょうかい |
| C | C | 資料のしょうかい |

二 山田さんは、【ぼうさい新聞】の「感想」の部分を書いているときに、これまで書きためていたことわざカードの一つが思いうかび、そのことわざを使いました。□ウに入ることわざについて書かれたカードとして最もふさわしいものを、次の1から4までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 ちりも積もれば山となる

(意味) わずかなものでも、積もり重なると大きなものになること。

2 急がば回れ

(意味) 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。

3 かつぱの川流れ

(意味) どんなに上手な人でも、失敗することがあること。

4 そなえあればうれいなし

(意味) ふだんから十分にじゅんびをしておけば、いざというときに何の心配もいらないこと。

三 森さんは、【ぼうさい新聞】を読み返しているときに、学習した漢字を使わずに、ひらがなで書いていることに気づきました。

—— 部ア、イのひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

自然さい害がはつせいしたときにそなえて、かくにんをしておきましょう。  
ア イ

日ごろから、さい害にそなえてじゅんびをしておくことがひつようだと思いました。

四 本村さんは、校長先生の話の内容が、読み手により伝わるようにするために、【ぼうさい新聞】の□の部分をくわしく書き直そうとしています。次は、〈本村さんの心の中の声〉と【本村さんのメモ】です。あの〈じょうけん〉に合わせて書きましょう。

### 【ぼうさい新聞】の□の部分

校長先生は、「自分たちの地いき全体のきけんな場所を知つておくことが大切です。」と、おっしゃっていました。

### 〈本村さんの心の中の声〉

このままだと、なぜ地いき全体のきけんな場所を知つておくことが大切なのか伝わらないな。

校長先生の話を聞いたときのメモを見直して、理由をつけ加えてくわしく書こう。

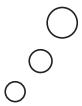
### 【本村さんのメモ】

#### 校長先生の話

- ・自分たちの地いき全体のきけんな場所を知つておくことが大切
- ・さい害は、いつ、どこで起こるか分からぬから
- ・「青葉小ぼうさいマップ」には、地いきのきけんな場所などがしようかいされている
- ・自分の命を守るために役立てほしい



校長先生



本村さん

〈じょうけん〉

- 校長先生が、――部「自分たちの地いき全体のきけんな場所を知つておく」ことが大切だと考える理由をつけ加えてくわしく書くこと。

- 【本村さんのメモ】から言葉や文を取り上げて書くこと。

- 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、七十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※ 左は下書き用なので、使っても使わなくともかまいません。かい答は、かい答用紙に書きましょう。  
◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

校	長	先	生	は	、	〔◆〕
70字	50字	と、おっしゃっていました。				

これで、国語の問題は終わりです。